

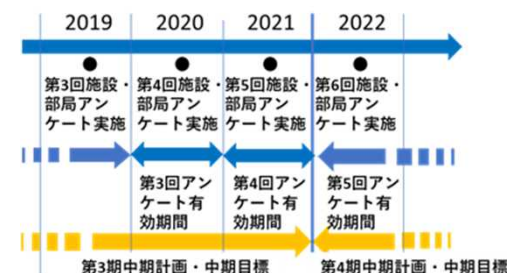
研究設備マスタープラン策定方法について：施設・部局アンケート

【施設・部局アンケート対象設備】

研究者個人アンケートでは対象とはなりにくい研究設備で、施設・部局の研究戦略上必要な設備、共用施設の運営に必要な設備、法令に基づき整備すべき設備を対象とする。教育を主たる目的とする設備と医療機械設備は対象としない。

施設・部局アンケートは毎年実施し、マスタープラン更新を行う。

- アンケート有効期間：アンケート実施の翌年度の1年間とする（右図参照）。
- アンケートの取扱：共用設備基盤センターにて施設・部局アンケートの集計・評価に基づく設備ランキング案を作成する。概算要求(基盤設備)の設備の基礎資料として用いられる。
- アンケート実施頻度：概算要求(基盤設備)の設備選定に際して、政府の方針等の状況を考慮する必要があること、法令改正等に基づき整備すべき設備があることから、毎年実施とする。



施設・部局アンケートの流れ

① 文書によるアンケート
施設・部局が対象
11月下旬～12月下旬：1ヶ月間

施設・部局の要望設備調査

- ・ 要望設備（1設備）を回答。
- ・ 概算要求の対象となる設備も含める（所要額1千万～3億円）

- ・ 更新と新規導入設備区分無し



② 共用設備基盤センターが
アンケート結果を集計・評価※
12月下旬～1月下旬：1ヶ月間

アンケート結果の評価と順位付け

- ・ 共用設備基盤センター長のもと、センター専任教員が評価とランキングを行う。

※評価項目

1. 共用性
2. 研究設備としての重要性
3. 大学の中期目標・計画との整合性（研究分野としての将来性とも関連）
4. 概算要求の趣旨・選定方針（関連項目との関係等）との整合性



③ 共用設備基盤センター運
営委員会で審議
1月下旬～3月下旬

共用設備基盤センターの ランキング案作成



④ 要望設備順位を学長が決定
要望研究設備の最終的順位付け

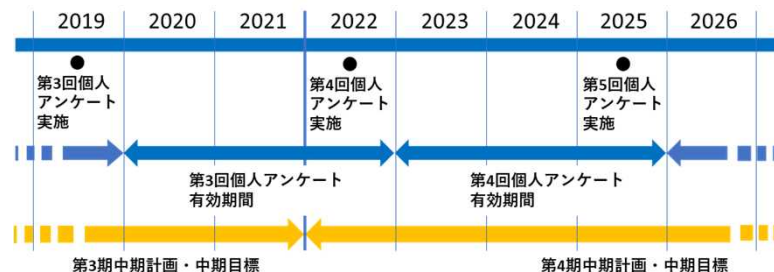
施設・部局アンケート実施の翌年度の概算要求（基盤的設備）は本アンケートをもとに行う。あらためての照会を行わない。

【参考】研究設備マスタープラン策定方法について：研究者個人アンケート（2021年度は実施しません。）

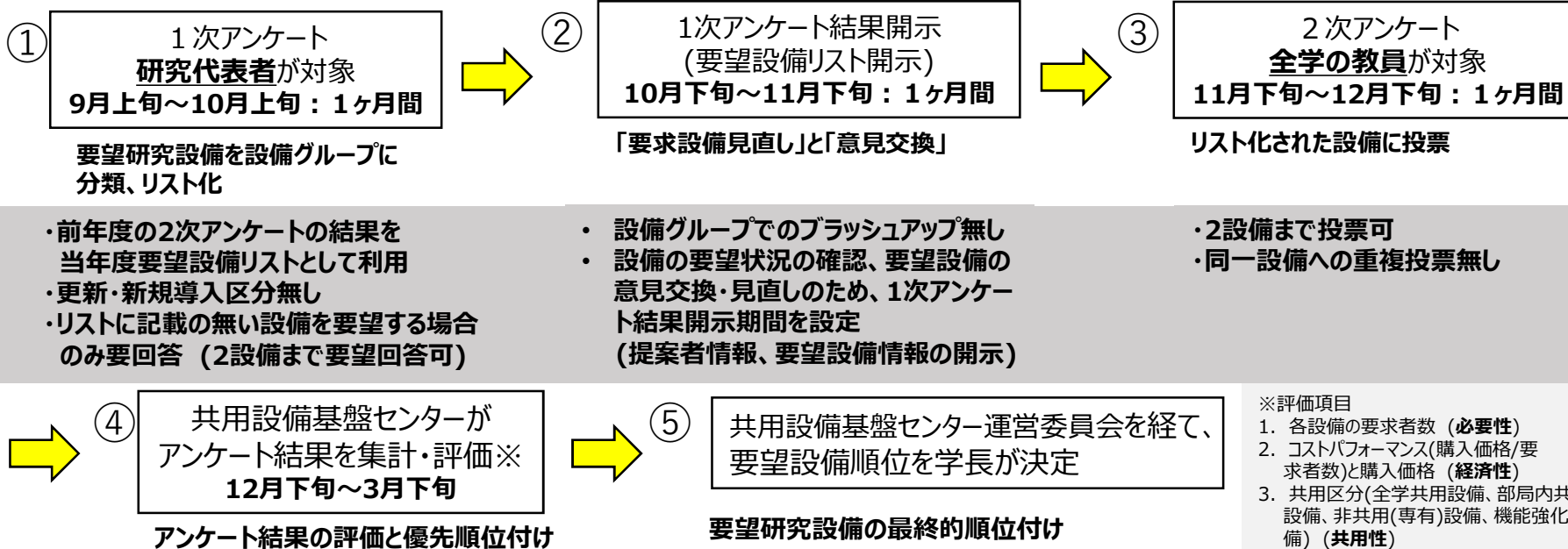
【設備マスタープランとは】

1,000万円以上の研究設備を対象とした整備計画。個人アンケートでは2段階のアンケートを実施し、必要性、経済性、共用性による要望設備の定量的評価に加えて、中期目標・中期計画との整合性を踏まえて、要望設備の順位付けを行い設備マスタープランとする。本アンケートは中期計画・中期目標期間の初年度及び中間年度に(3年毎)実施し、マスタープランを更新する。

- 有効期間：アンケート実施の翌年度から次回アンケート実施年度までの3年間とする（右図参照）。
- 有効期間(3年間)での設備導入目標：アンケート上位の3設備とする。
- 要望設備の金額：7500万円(*)を目安としてそれを超える金額の要望設備を要望設備(高額)とする。
*有効期間(3年間)で学内予算において確保できる財源額の概ね1/2の金額
- 要望設備(高額)の取扱：以下、条件を満たす設備を概算要求設備とする。
 - ① 要望設備(高額)の得票1位
 - ② 要望設備(高額)を除く個人アンケートの上位5番目と同等以上の得票を得ている



研究者個人アンケート*の流れ (*アンケートの実施方法はインターネットアンケートとする。)



・順位付けに際して設備グループ毎の合計評価は行わない

※評価項目

1. 各設備の要求者数 (必要性)
2. コストパフォーマンス(購入価格/要求者数)と購入価格 (経済性)
3. 共用区分(全学共用設備、部局内共用設備、非共用(専有)設備、機能強化設備) (共用性)
4. 中期目標・中期計画との整合性